

鉄道敷地の整備について

【目次】

1 各ゾーンの整備方針

2 各ゾーンの整備計画図

2-1 水木ゾーン(区間A)の整備について

2-2 水木ゾーン(区間A':トリエ京王調布C館北側)の整備について

2-3 歩行者利便増進道路(通称:ほこみち)について

2-4 情報発信ゾーン(区間B)の整備について

2-5 情報発信ゾーンのスポット1(S1)及びスポット2(S2)の整備について

2-6 健康ゾーン(区間C)の整備について

2-7 健康ゾーンのスポット(S3)の整備について

2-8 映画ゾーンの整備について

2-9 映画ゾーンへのアプローチについて

1 各ゾーンの整備方針

1 各ゾーンの整備方針

≫ 鉄道敷地整備計画

- ・平成28年3月に「鉄道敷地整備計画」を策定し、緑道全体の整備テーマを決定した。
- ・調布駅周辺を「にぎわい・交流エリア」、布田駅・国領駅周辺を「うるおい・やすらぎエリア」に設定するとともに、エリアに合わせてゾーンを設定した。

全体整備テーマ
桜を全体に配置した四季感豊かな緑道空間



緑道の整備イメージ

エリア

にぎわい・交流エリア

うるおい・やすらぎエリア

ゾーン

水木ゾーン

映画ゾーン

情報発信ゾーン

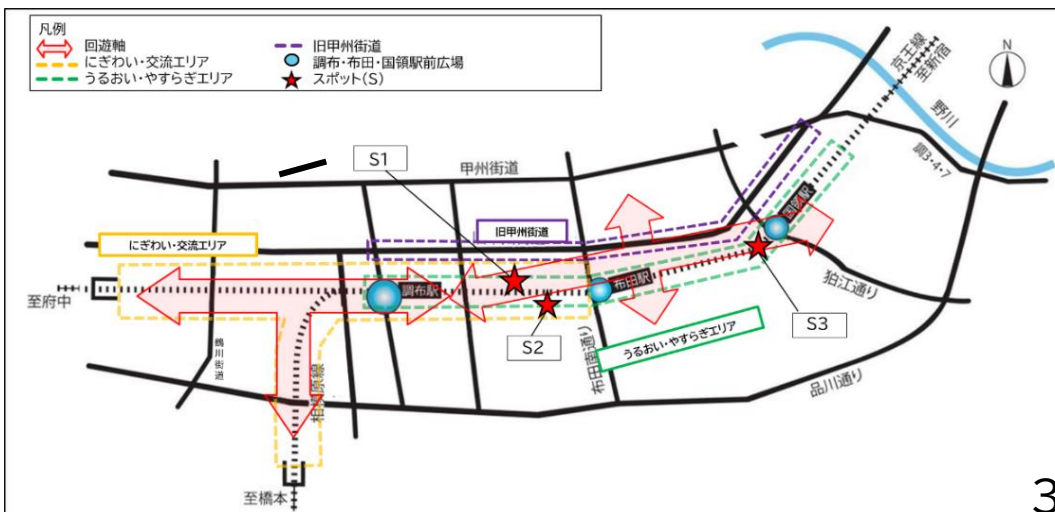
健康ゾーン



≫ スポットの整備について

【鉄道敷地における回遊性の考え方】

- ・旧甲州街道や周辺の公園施設等を含め、誰もが憩い楽しめる空間整備に向けて、鉄道敷地の整備を進める。
- ・緑道には各スポットに市民や来訪者が立ち寄りたくなるような仕掛けづくりを検討し、回遊性を創出する。

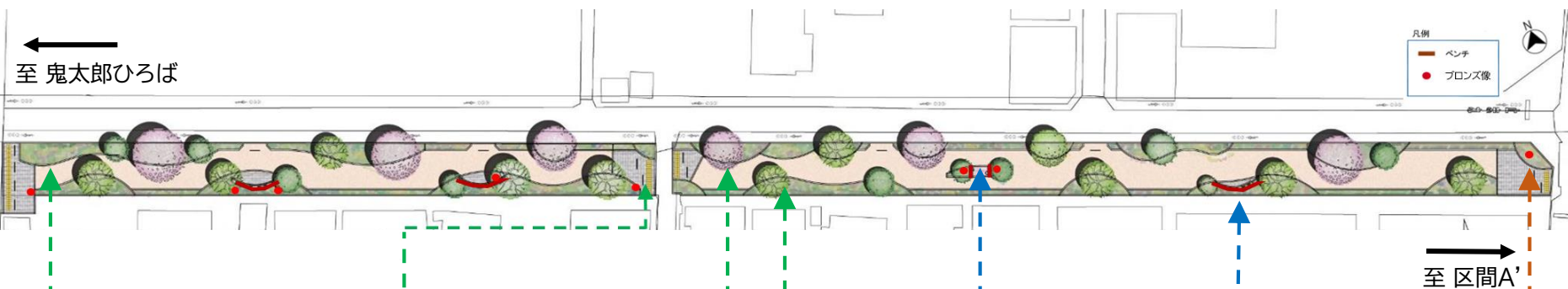


2 各ゾーンの整備計画図

2-1 水木ゾーン(区間A)の整備について

■整備の考え方

- ・緑道全体に高木をバランス良く配置するとともに、蛇行した歩行空間とすることで、散策者が空間の奥行きやみどりのボリュームを感じられる空間を創出する。
- ・高木により生み出された木陰にベンチを配置し、休息できる場を設ける。
- ・緑道内には水木ゾーンとして鬼太郎ひろばまでのつながりを持たせるため、水木キャラクターのブロンズ像を配置する。各ブロンズ像は、道案内をするなど動きのあるデザインとする。



仕様のイメージ

R4施工

舗装(脱色アスファルト舗装)



緑道出入り部分



高木候補樹種



ジンダイアケボノ

中高木候補樹種



イロハモミジ カラタネオガタマ エゴノキ ヤマボウシ サルスベリ

R5施工

ベンチ

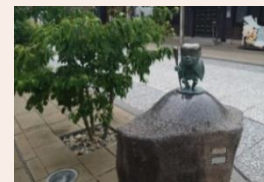


(出典:共和ハーモテック)



(出典:東洋工業)

R6施工

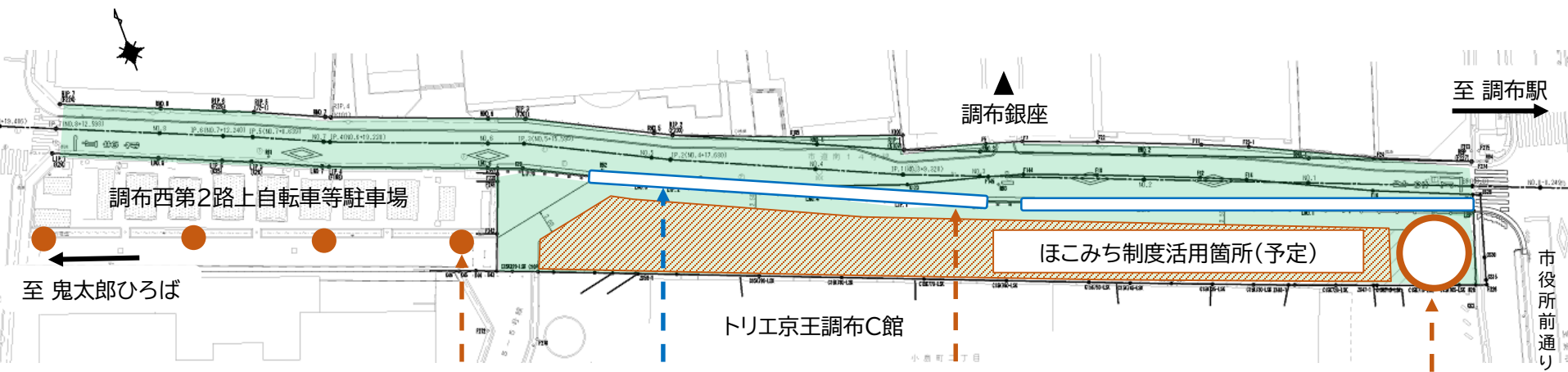


ブロンズ像

2-2 水木ゾーン(区間A' : トリエ京王調布C館北側)の整備について

■整備の考え方

- ・歩行空間と生活道路の間には水木ゾーンを演出する柵を設置。柵は色彩に配慮し、落ち着いた空間を演出する。
- ・トリエ京王調布C館の映画案内板に平行した並びでぬりかべ案内板を設置。水木ゾーンの始まりとしてアイキャッチの機能を持たせる。
- ・調布西第2路上自転車等駐車場の南側通路には、昼間は水木キャラクターのシルエットが視認でき、夜間にはキャラクターが浮かびあがる間接照明を設置し、市役所前通りの水木ゾーンの始点から「鬼太郎ひろば」までの連続性を確保する。

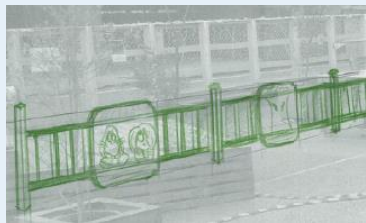


≫≫ 仕様のイメージ

R5施工



舗装(脱色アスファルト舗装)

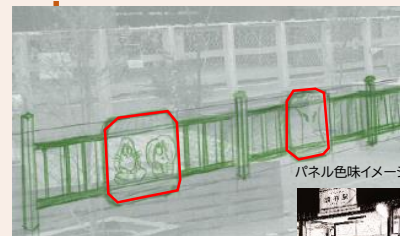


横断抑止柵(パネル部分を除く)

R6施工



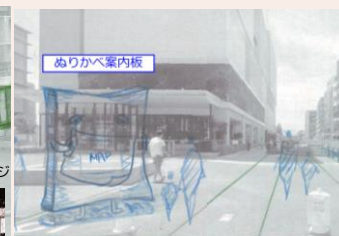
間接照明



パネル



パネル色味イメージ



ぬりかべ案内板

2-3 歩行者利便増進道路(通称:ほこみち)について

■ 区間A'(トリエ京王調布C館北側)の状況

- ・現在は土地所有者である京王電鉄株式会社が、てつみちとして運営及び管理を行っている。
- ・シンボリックなベンチや子どもが遊べる人工芝等が設置されている。

■ 今後の活用イメージ

- ・多くの市民に楽しまれている状況を考慮し、オープンカフェ等による来訪者の滞留・賑わいと水木ゾーンが共存する空間とするため、ほこみち制度を活用し、道路空間を活用する者(=占有者)を公募する。

■ 公募占有指針の考え方

- ・占有者を公募で選定する際は、
 - ①水木ゾーンを踏まえたデザインとすること
 - ②緑道の連続性を踏まえ、植栽に配慮した設えとすること
 などを公募占有指針の条件として設定する。
- ・公募により選定された場合には、最長20年の占有が可能であることから、1事業者による長期的な占有で指針を検討する。



ほこみち活用イメージ



キッチンカー(調布市庁舎前庭)



オープンカフェ(新宿モア4番街)

≫ スケジュール(予定)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	下半期		上半期	下半期	上半期	下半期
公募占有 手続	歩行者利便増進道路の指定			・公募占有指針 公示 ・評価選定委員会 開催	ほこみち占有開始	
ほこみち制度 活用箇所工事			準備工	市施工 (生活道路, 歩行空間)	占有者 施工 (ほこみち 制度活用 箇所)	開放
			閉鎖期間			

2-4 情報発信ゾーン(区間B)の整備について

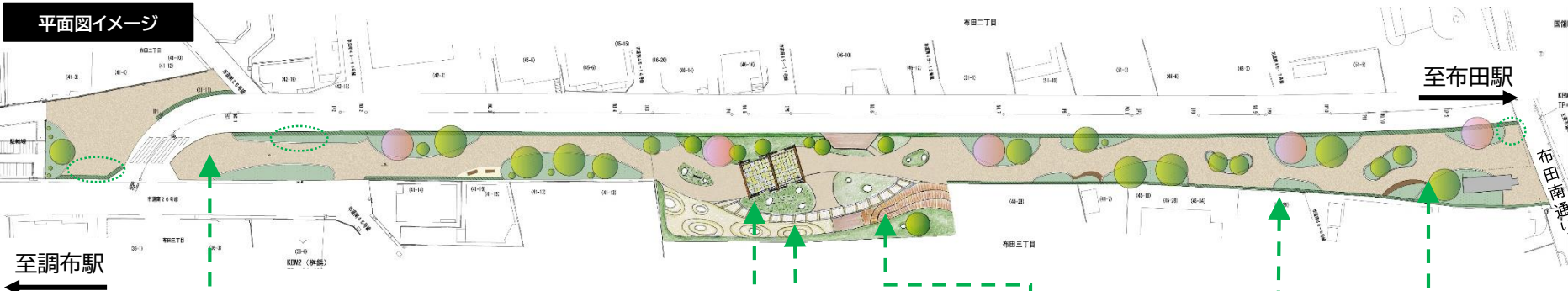
■区間Bにおける「情報発信」とは

1. 鉄道敷地全体の配置や回遊性向上に資する情報発信【市⇒市民】
2. 市政情報や市民活動に関する情報発信【市⇒市民】
3. 市民自身が写真映える風景をSNS等に掲載することや音楽を奏でることによる情報発信【市民⇒市民】
4. 市にゆかりのある文化・芸術作品の展示による情報・魅力発信【市民⇒市民】

■整備の考え方

- ・緑道全体に高木をバランス良く配置するとともに、蛇行した歩行空間とすることで、散策者が空間の奥行きやみどりのボリュームを感じられる空間を創出する。
- ・高木により生み出された木陰にベンチを配置し、休息できる場を設ける。

平面図イメージ



舗装・施設等の整備イメージ

脱色アスファルト舗装



案内板

鉄道敷地全体の配置や回遊性向上に資する情報を発信する。
(設置候補箇所: ●)



横須賀中央公園(横須賀市)

ゴムチップ舗装



(出典:東京港埠頭株式会社)

段状ベンチ



(出典:神戸市)

芝生



写真映える風景



ベンチ



(出典:株式会社コトブキ)

2-5 情報発信ゾーンのスポット1(S1)及びスポット2(S2)の整備について

【S1】

・緑道に回遊性を創出するスポットとして活用するため、様々な利用が可能なオープンスペースを設ける。

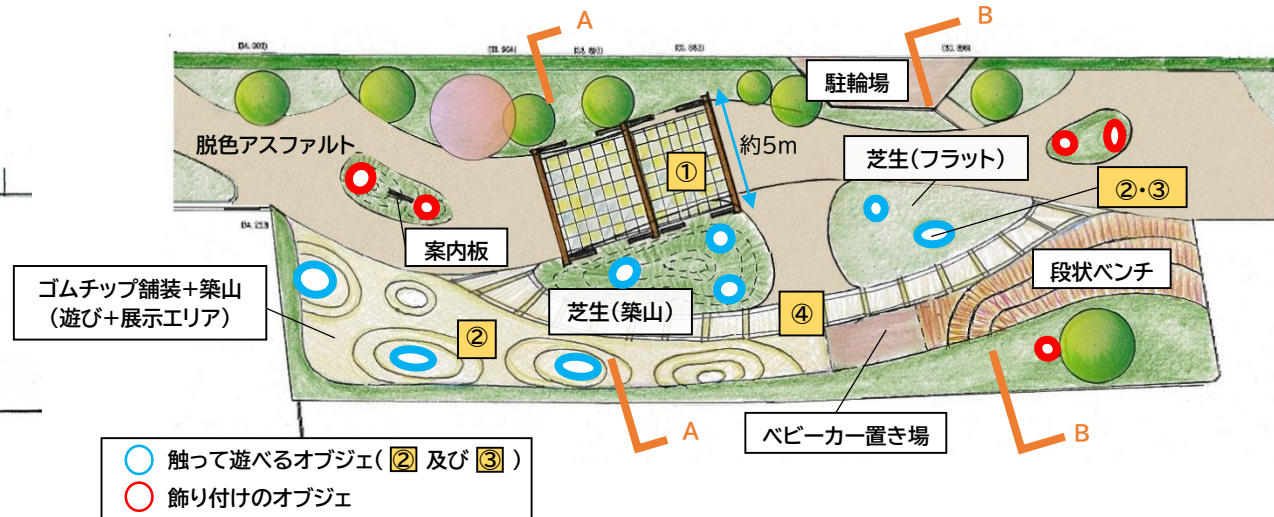
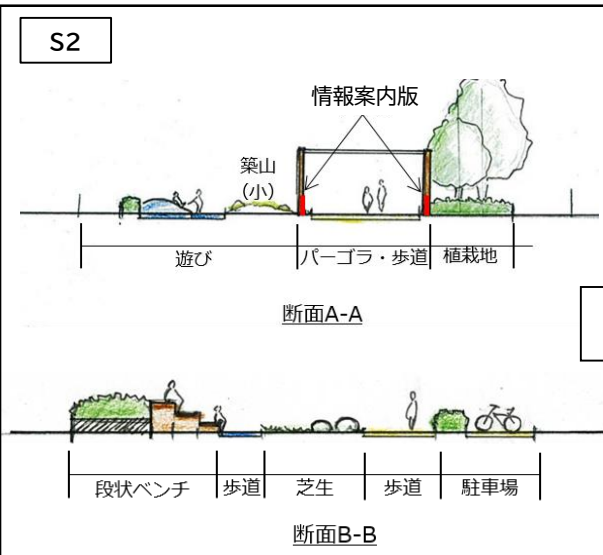
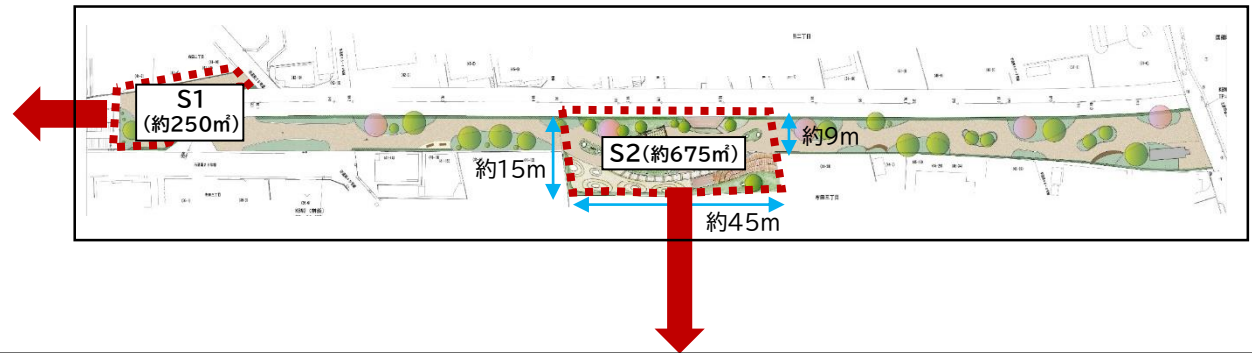
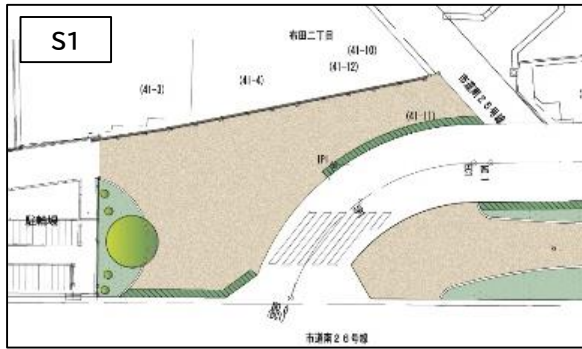
【S2】

・当該ゾーン周辺に公園機能の充実を図るため、“子育て世帯”を対象とした子どもが遊べる設えとする。

・アートオブジェの展示等にも活用できる、曲線状の段状ベンチを設置する。

・子育て世帯が立ち寄りやすくするため、駐輪場やベビーカー置き場を設ける。

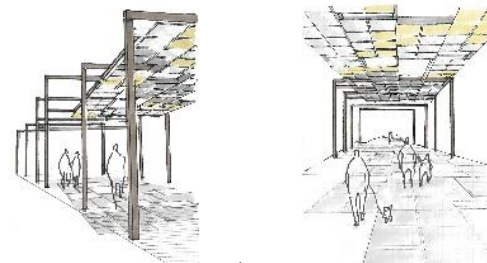
平面図イメージ



》 S2の主な機能について(予定)

①パネルパーゴラ

- ・布田駅から調布駅まで見通せる直線的な緑道の特性を活かし、目印となる施設としてパネルパーゴラを設置し、人々が立ち寄りたくなるような設えとする。
- ・パーゴラに情報案内板を設置し、文化・コミュニティ振興財団等のイベント情報発信や市民活動の展示スペースとして活用する。
- ・パネルの影の形状が利用時間によって変化し、趣がある歩道を演出する。



パーゴライメージ

②遊びのエリア+オブジェ

- ・遊びのエリアにはゴムチップ舗装を使用するとともに、築山で地形の起伏を作り、S2自体を遊び場として楽しめる空間とする。
- ・シンプルかつ遊びの要素を持ち合わせたオブジェを設置する。
- ・写真映えるようなオブジェをバランスよく配置し、外部へ発信したくなるような空間を創出する。



金沢21世紀美術館(石川県)



彫刻の森美術館(箱根町)

③音楽を用いたオブジェ

- ・「音楽」と「遊び」を融合させたオブジェを設置する。
- ・音量の調整等をし、騒音対策に努める。



(左)ミュージックボール:取っ手を回すことで音楽が流れる。



(右)ジャンプストーン:トランポリン状の箱の上で飛び跳ねることによって音楽が流れる。
(出典:タカオ株式会社)

④鉄道跡地をモチーフにした整備

- ・これまでの市民参加において「鉄道跡地であったことを後世に残したい」という声があったことを踏まえ、鉄道跡地を想起させるよう、鉄道レールをモチーフにした整備を行う。



梅小路ハイライン(京都府)
(出典:株式会社Replace)



てつみち

2-6 健康ゾーン(区間C)の整備について

■区間Cにおける「健康」とは

1. 身体の健康 :一人ひとりの健康を保つ個人の取り組み(歩行運動)を促す設えを行う。
2. 心の健康 :身体だけでなく心も休められるよう, やすらぎを得られる落ち着いた空間を創出する。
3. 社会の健康 :緑道内でのコミュニケーションを活性化し, 地域活動が行える設えを行う。

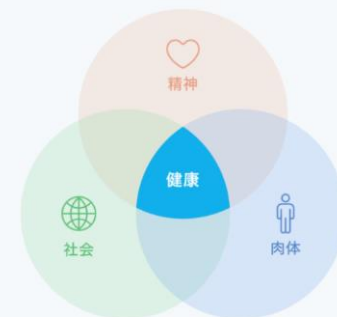
■整備の考え方

- ・歩行距離約20m毎に桜を配置することや季節の変化に富んだ植栽配置をするとともに, 直線を用いた歩行空間とすることで, 歩行運動を促す空間を創出する。
- ・舗装面に足跡の設置など歩行空間に楽しみを散りばめることで, 子どもから高齢者まで楽しめる緑道とする。
- ・緑道内には地域活動が行える場を設ける。

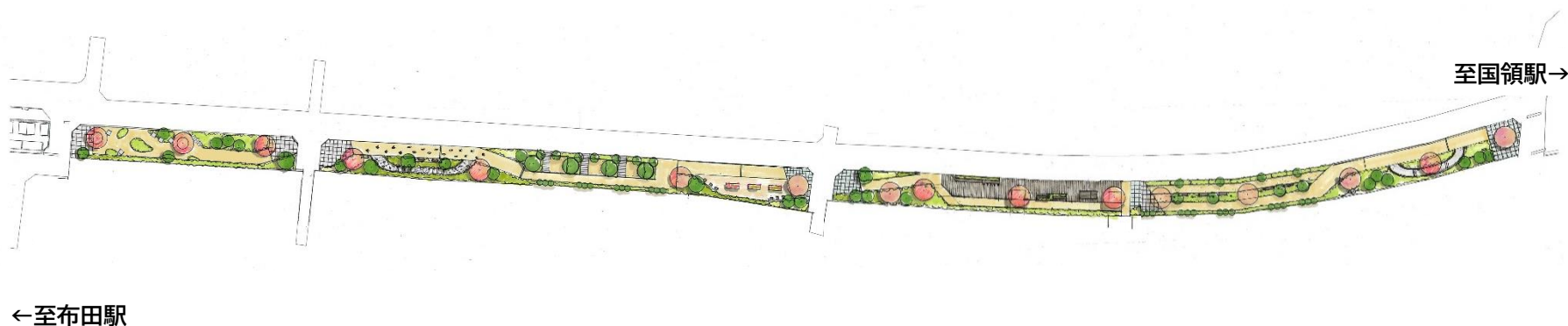
【参考】WHO 憲章における健康概念

世界保健機関(WHO)憲章(1948年4月7日発効)の前文は
「健康は身体的にも精神的にも社会的に完全に良好な状態をいい, 単に病気がないとか病弱でないということではない。」
と健康を定義しています。

(鈴木庄亮・久道茂編『シンプル衛生公衆衛生学 2004』南江堂)



平面図イメージ



舗装・施設等の整備イメージ

<パークレット(デッキ舗装)>

デッキ舗装を施し、コミュニケーションの場を整備する。



パークレット (出典:神戸市)



植栽ベンチ:植栽を背に座るL字ベンチのコンビネーション

<健康運動サブルート> ※イメージ

メインルートとは異なる舗装材、勾配、段差などによりバラエティの豊かな歩行面をサブルートとして整備する。サブルートを歩行することで、歩行運動の効果を上げることを目指す。



1. 築山状の島により、メインルートとサブルートを分ける



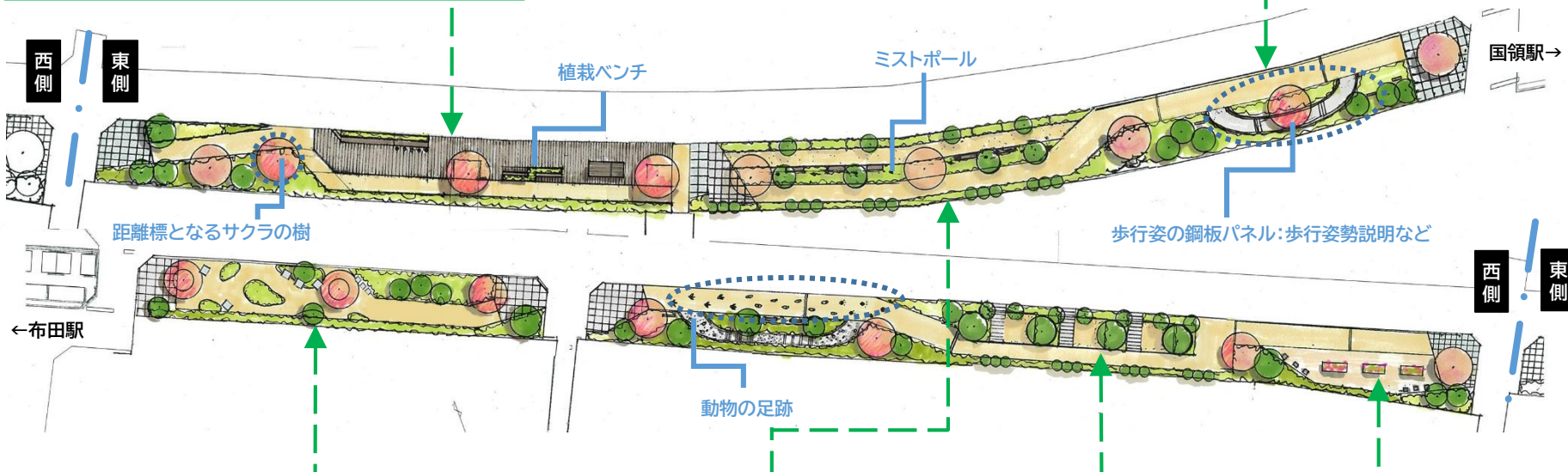
2. 波状の傾斜のあるサブルート



3. 昇降運動のあるサブルート



4. 凹凸のある舗装面



<やすらぎガーデン>

植栽の島の間を通り抜けるやすらぎガーデンには落ち着けるスツールを設置する。



スツールイメージ

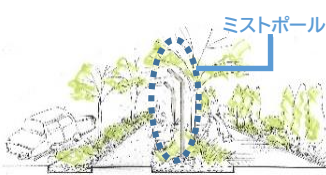


<ミストサブルート>

ミストボールからの細かい霧がサブルートを心地よい散歩道とする。



(出典:株式会社サカエ)



「距離標となるサクラの樹」



ジンダイアケボノ(花期:4月)

<木陰サブルート>

開放的な空間とし、スペースを設ける。



「動物の足跡」



「歩行姿の鋼板パネル」



<レイズドベッド(立ち上げ花壇)>



(出典:広島緑化フェア)

花壇作業時に身体をかがめる必要のないレイズドベッドを配置する。地域交流の活動場所として、車いす利用者を含む地域の様々な人がガーデンを楽しむことのできる場を提供する設えとする。

2-7 健康ゾーンのスポット(S3)の整備について

国領駅前広場に隣接し、緑道の始まりとなることから、にぎわいや交流が生まれる空間とし、回遊性の向上につながるよう整備する。

【設計条件】

- ・京王線が地上から浅い所に位置するため、高木等は配置せず、芝や地被類を配置
- ・将来的に柔軟な空間利用ができるよう、水道・電源等のライフライン及びベンチを設置

平面図イメージ



脱色アスファルト舗装イメージ



ベンチイメージ(出典:渋谷区)



芝生の築山イメージ



インターロッキングブロック舗装



(出典:東洋工業)

現在の状況



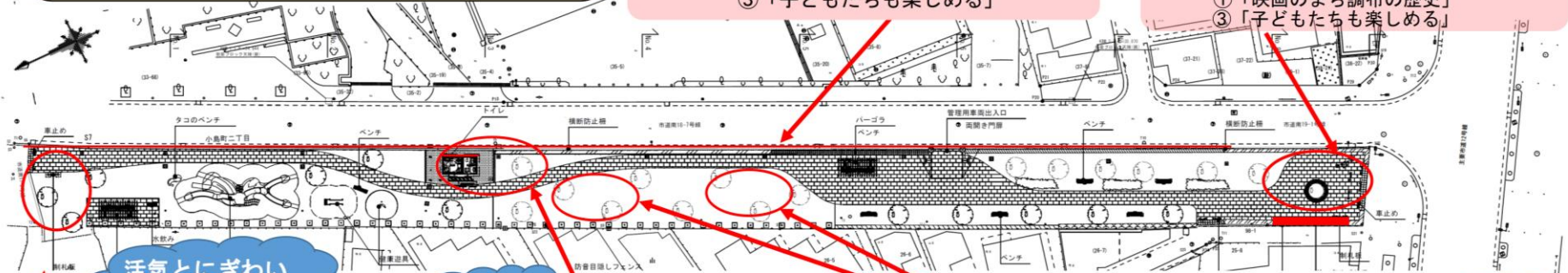
映画ゾーン(仮称)鉄道敷地公園(相模原線)の設えイメージ

- 令和4年度設置予定
- 令和4, 5年度設置予定
※令和4年度は繰越明許費設定予定
- 令和5年度設置予定

公園整備コンセプト

- ・多くの映画・映像関連企業が立地していることや、シネマコンプレックスが立地していることから「映画のまち調布」の特色を生かした公園とする。
- ・安全に配慮しながら「緑の連続」や「にぎわいと交流」に資する整備。
- ①映画のまち調布の歴史
- ②市内で生まれた映画作品を知ってもらう
- ③子供たちも楽しめる公園

※公園全体の緑の整備
(緑の育成状況を踏まえ、植替えも含めて整備内容は検討)



活気とにぎわいへの入口

映画のまちPR

公園フェンスへ
「映画のまち調布」のデザイン柵の設置



③「子どもたちも楽しめる」

品川通り側入口に映画看板・ポール設置



①「映画のまち調布の歴史」
③「子どもたちも楽しめる」

活気とにぎわいへの入口

親しむ

ふれあう

北側入口ポール, ガチャの日時計設置



③「子どもたちも楽しめる」

公園トイレ壁面への映画(映像)の投射と鑑賞用ツールの設置
道路側壁面装飾



②「映画作品等を知ってもらう」

撮影スポット(カメラミニチュア設置)
芝生広場に階段ベンチ設置

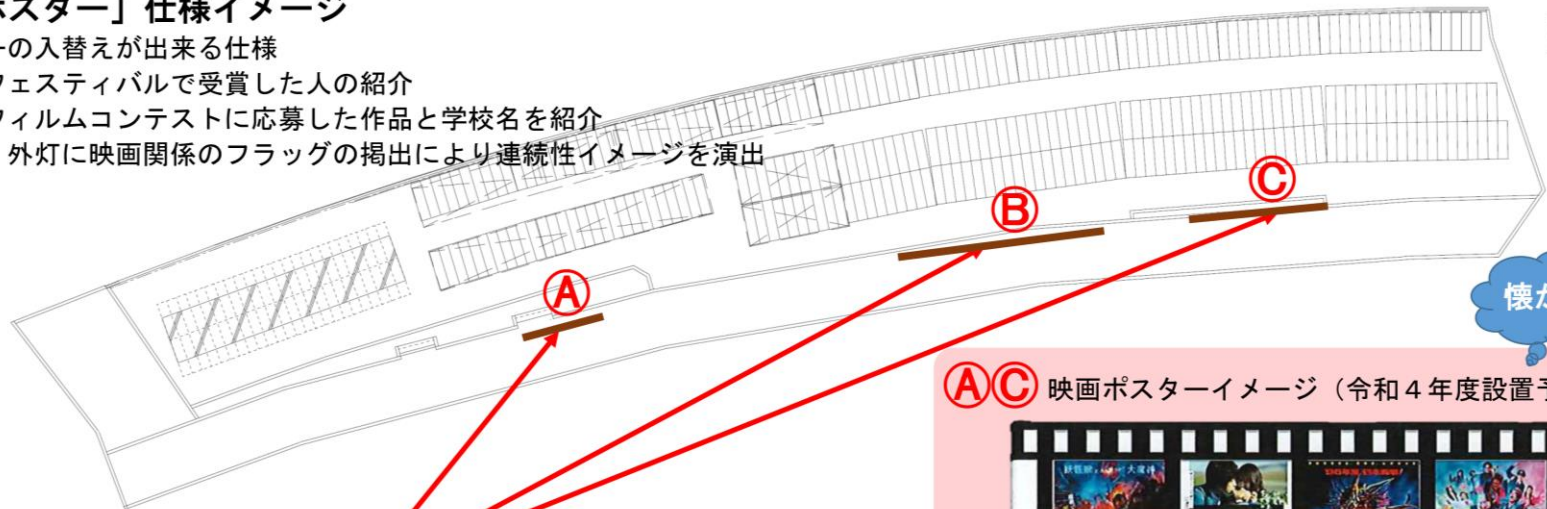


②「市内で生まれた映画作品を知ってもらう」
③「子どもたちも楽しめる」

映画ゾーン調布西第1路上自転車駐車場の設えイメージ図

「映画ポスター」仕様イメージ

- ・ポスターの入替えが出来る仕様
- ・シネマフェスティバルで受賞した人の紹介
- ・高校生フィルムコンテストに応募した作品と学校名を紹介
- ・その他、外灯に映画関係のフラッグの掲出により連続性イメージを演出



懐かしむ

①② 映画ポスターイメージ (令和4年度設置予定)



② 「市内で生まれた映画作品を知ってもらう」

知る

映画年表 (簡易版) ・映画ポスターの設置 (令和4年度設置予定)



「緑の連続」や「にぎわいと交流」

③ 年表 (簡易版) イメージ (令和4年度設置予定)



① 「映画のまち調布の歴史」

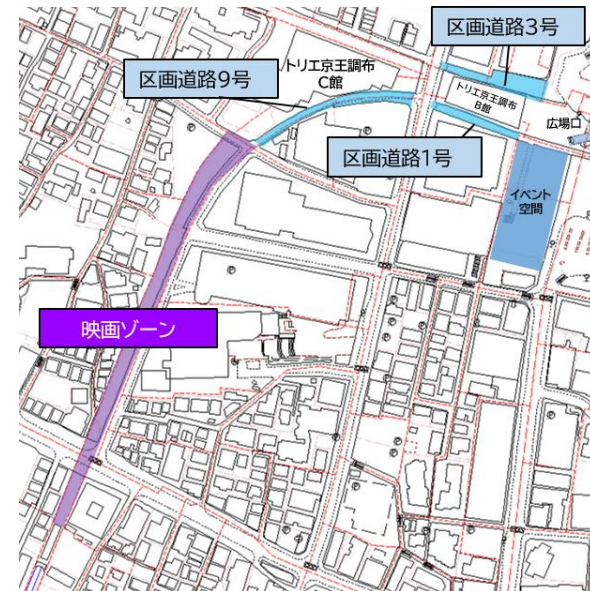
2-9 映画ゾーンへのアプローチについて

基本の考え方

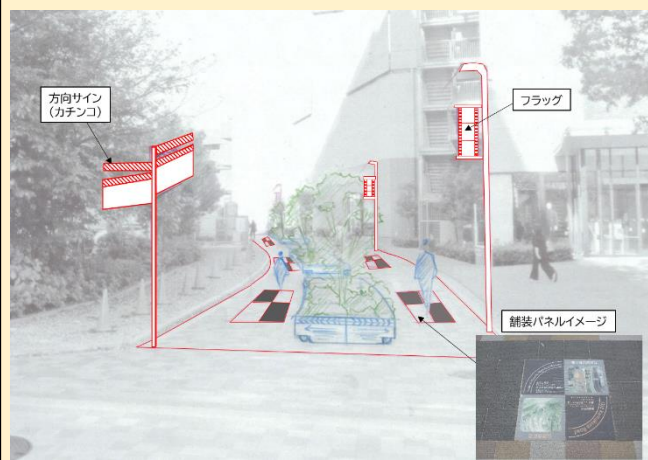
- 区画道路1号は広場口から映画ゾーンまで連続性のある動線であることから、映画を想像させる空間とし、映画ゾーンへとつながる歩行者空間として整備を進める。
- 区画道路3号は基本、歩行者空間として確保するが、調布駅前広場におけるイベント実施時には車両搬入ルートとする。
- 区画道路9号は調布駅前広場から(仮称)鉄道敷地公園(相模原線)などの公共施設までアクセスできる空間として、道路法の範囲内で「映画のまち調布」の特色を活かした道路整備を行う。

整備の考え方

- (仮称)鉄道敷地公園(相模原線)等まで歩くことを楽しめる空間とする。
- 調布駅前広場から映画空間を思わせる道路を整備する。
- 映画のまち調布の特色を活かした設え等について、今後も市内の映画・映像関連企業との調整を図りながら具体的に検討する。



区画道路9号の活用イメージ



区画道路1号の活用イメージ

